

第4章 都市構造・都市基盤

～拠点都市として持続可能なまちをつくる～



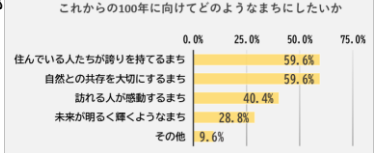
令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	くしろ100年事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	総務部総務課 総合政策部都市経営課 釧路市まちづくり基本構想
根拠となる計画	
目的と概要	北海道において初めての市制が施行されて釧路市が誕生してから100年の節目を迎えるに当たり、生産都市としての誇りとともに釧路市の魅力や価値を次世代に継承し、次の100年においても持続的な発展を実現するため、くしろ100年特別表彰と阿寒湖周辺スタディートリップを実施する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	0	1,780	0
財源	一般財源 (千円)	0	0	0
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		1,780	
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	0	1,408	0
①	職員数 (人)	0.0	0.2	0.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		11.2	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	<p>〇くしろ100年特別表彰 これまで本市の産業の振興に貢献し、将来においても本市の経済をけん引していく企業について、その功績をたたえ表彰する。</p> <p>①被表彰者選考委員会の開催 副市長その他の関係する市職員で構成する被表彰者選考委員会を開催し、被表彰候補者を選考する。 【被表彰候補者の選考基準】 市内に事業所を有し、次のア又はイに該当する企業 ア 業績が顕著で、長年にわたる活動により本市の産業を振興し、地域経済の発展に貢献している企業であって、将来においても地域経済の中心を担うことが期待される企業 イ 長年にわたって本市の産業の振興に貢献し、かつ、優れた技術力若しくは独自の技術を有し、又は先駆的な取組を行っている企業であって、成長性が見込まれ、将来において地域経済をけん引していくことが期待される企業</p> <p>②有識者懇談会の開催 被表彰者の決定に当たり、外部有識者に意見を求める。</p> <p>③被表彰者の決定 外部有識者の意見を踏まえた上で、被表彰者を決定する。</p> <p>④表彰式の開催 100年の節目を迎える令和4年8月1日に表彰式を開催する。</p> <p>〇阿寒湖周辺スタディートリップ 阿寒湖周辺の自然環境散策をととして、市民の方々に世界に誇る地域資源と釧路のこれからの100年を考えていただくことを目的として実施する。</p> <p>対象:市内大学生、公募市民、釧路市地域協議会委員</p>								
(2)事業の実績と成果	<p>〇くしろ100年特別表彰 ①被表彰者選考委員会の開催:令和4年6月29日 ②有識者懇談会の開催:令和4年7月8日 ③被表彰者の決定:令和4年7月11日 ④表彰式の開催:令和4年8月1日 企業11社を表彰</p>  <p>〇阿寒湖周辺スタディートリップ 開催日:令和4年7月30日(土) 9:30~18:00 参加者:市内大学生(引率教諭含む)…29名 一般参加者(公募市民)…19名 釧路市地域協議会委員…4名</p>  <p>行程:</p> <table border="1"> <tr> <td>① 双湖台</td> <td>雄阿寒岳と湖沼群の形成の関係性解説</td> </tr> <tr> <td>阿寒湖</td> <td>容器にプラスチックを一切使わないお弁当で昼食(希望者のみ)、施設内の給水スポットを紹介し、ゼロカーボンパークの取組を説明</td> </tr> <tr> <td>③ 阿寒湖とチュウレイ島</td> <td>遊覧船で阿寒湖の地形について学び、阿寒湖のマリモが丸くなる仕組みを解説</td> </tr> <tr> <td>④ 自由散策</td> <td>温泉や湧水の水質とマリモの生育について解説、ボッケ散策(希望者のみ)など</td> </tr> </table> <p>参加者対象アンケートを実施(全52名より回答を得た) ※アンケート結果の一部</p> 	① 双湖台	雄阿寒岳と湖沼群の形成の関係性解説	阿寒湖	容器にプラスチックを一切使わないお弁当で昼食(希望者のみ)、施設内の給水スポットを紹介し、ゼロカーボンパークの取組を説明	③ 阿寒湖とチュウレイ島	遊覧船で阿寒湖の地形について学び、阿寒湖のマリモが丸くなる仕組みを解説	④ 自由散策	温泉や湧水の水質とマリモの生育について解説、ボッケ散策(希望者のみ)など
① 双湖台	雄阿寒岳と湖沼群の形成の関係性解説								
阿寒湖	容器にプラスチックを一切使わないお弁当で昼食(希望者のみ)、施設内の給水スポットを紹介し、ゼロカーボンパークの取組を説明								
③ 阿寒湖とチュウレイ島	遊覧船で阿寒湖の地形について学び、阿寒湖のマリモが丸くなる仕組みを解説								
④ 自由散策	温泉や湧水の水質とマリモの生育について解説、ボッケ散策(希望者のみ)など								

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/>		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/> <input type="text" value="終了"/>	
課題	令和4年度新規事業のため、空欄となります。	課題	事業の目的を果たしたことから終了。
今後(令和5年度以降)の方向性	令和4年度新規事業のため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	都市計画施策推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	住宅都市部都市計画課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(釧路圏都市計画) 第2次釧路市都市計画マスタープラン 釧路市立地適正化計画 釧路市都市計画道路の見直し方針
目的と概要	人口増減、モータリゼーションの進展、産業構造の転換、地球環境問題の高まり、厳しい財政的制約など、都市をめぐる社会経済状況に対応するため、都市内の限られた土地資源を有効に配分し、建築敷地、基盤施設用地、緑地自然環境を適切に配置するなど、都市計画の決定(変更)に関する調査および手続きを推進する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		1,049	3,235	3,428
財源	一般財源 (千円)	1,049	3,235	3,428
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	14,134	17,600	18,038
①	職員数 (人)	2.0	2.5	2.5
参考	市民一人あたりの費用 (円)		20.3	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
1. 都市計画決定関係(土地利用) ①防火、準防火地域の変更 ②芦野三丁目地区地区計画の変更 ③昭和北地区、桜ヶ岡・白樺台地区地区計画の変更 (都市計画道路の変更に伴う変更) 2. 都市計画決定関係(交通計画) ①釧路市都市計画道路の見直し方針に基づく変更 (新釧路通、桂恋武佐通、白樺台南通、白樺台通、興津通) 3. 釧路圏の広域的な都市計画 ①北海道及び釧路町との広域的な都市計画の調整 4. その他 ①釧路市都市計画審議会 ②住民説明会	1. 都市計画決定関係(土地利用) ①防火、準防火地域の変更 令和5年3月24日 釧路市告示第95号 ・準防火地域 約644ha→約269ha(375ha減) ②芦野三丁目地区地区計画の変更 令和5年3月27日 釧路市告示第101号 ・近隣サービス地区の廃止 ③昭和北地区、桜ヶ岡・白樺台地区地区計画の変更※ 令和5年3月27日 釧路市告示第102号、104号 ・地区整備計画区域の変更 2. 都市計画決定関係(交通計画) ①釧路市都市計画道路の見直し方針に基づく変更※ (桂恋武佐通、白樺台南通、白樺台通、興津通) 令和5年3月24日 釧路市告示第96号 ・桂恋武佐通 起点の変更、構造の変更 ・白樺台南通 終点および区域の変更 ・白樺台通 終点の変更 ・興津通 終点の変更 3. 釧路圏の広域的な都市計画 ①北海道及び釧路町との広域的な都市計画の調整 令和4年4月21日 都市計画決定(変更)に係る協議(北海道) 令和4年6月2日 釧路圏広域都市計画協議会総会(書面開催) 令和5年3月22日 都市計画決定(変更)に係る協議(北海道) 令和5年3月 第2次釧路町都市計画マスタープラン策定 4. その他 ①釧路市都市計画審議会 2回 令和4年11月9日 予備審査 令和5年1月25日 本審査 ②住民説明会 4会場(計4回) 令和4年10月25日 コアかがやき 令和4年10月26日 コア大空 令和4年10月27日 コア鳥取 令和4年11月2日 市役所本庁舎 【参考】スクラップアンドビルドによる業務の効率化、円滑化 ※都市交通計画調査事業(令和3年度まで)関連 →釧路圏都市計画(土地利用、交通計画一体)としての変更

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 スクラップアンドビルド		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 都市環境や社会情勢の変化に対応した持続可能なまちづくりを推進するため、継続的に検討を図る必要がある。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 都市環境や社会情勢の変化に対応した持続可能なまちづくりを推進するため、継続的に検討を図る必要がある。 「都心部まちづくり計画」を推進するため、必要となる都市計画決定(変更)に係る課題を整理する必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 「釧路圏都市計画 都市計画区域の準備、開発及び保全の方針」などにに基づき、土地利用、都市施設の整備及び市街地開発事業の検討を行い、必要に応じて都市計画を定める。※令和4年度から、本事業に都市交通計画調査事業を統合し、都市計画施策推進事業として継続する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 「釧路圏都市計画 都市計画区域の準備、開発及び保全の方針」などにに基づき、土地利用、都市施設の整備及び市街地開発事業の検討を行い、必要に応じて都市計画を定める。 「都心部まちづくり計画」の進捗に伴い、必要となる都市計画決定(変更)に係る検討および関係機関協議を進める。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

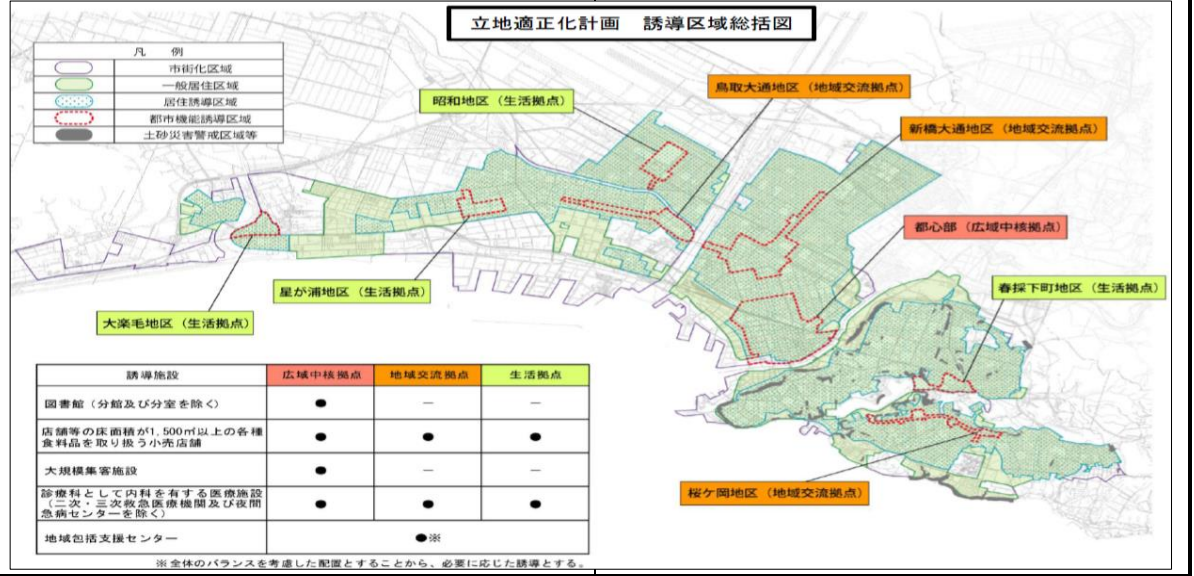
事業名	立地適正化計画推進補助金<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	住宅都市部都市計画課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 釧路市立地適正化計画
目的と概要	立地適正化計画の推進のため、立地適正化推進補助金を運用し、コンパクトなまちづくりの具現化を図る。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	6,251	5,000	5,000
財源	一般財源 (千円)	1,251	0	0
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
5,000	5,000	5,000		
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	18,374	4,224	4,329
①	職員数 (人)	2.6	0.6	0.6
参考	市民一人あたりの費用 (円)		31.4	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	

注1) 釧路市の人口 159,014人 (R5.3末現在)
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画	(2) 事業の実績と成果																																													
■釧路市立地適正化推進補助金制度の経過 2017(H29)年3月 釧路市立地適正化計画を策定 2017(H29)年10月 釧路市立地適正化推進補助金交付要綱を策定(補助金制度の創出) 2019(R31)年3月 釧路市立地適正化計画を改訂(居住誘導区域の追加) 2020(R2)年3月 誘導施設2件に対し補助金交付決定	■拠点地区における誘導施設(補助対象)の立地状況(令和4年度末時点) <table border="1"> <thead> <tr> <th>拠点分類</th> <th>地区</th> <th>大規模集客施設</th> <th>食料品小売店 (1,500m²以上)</th> <th>内科を有する 医療施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広域中核拠点</td> <td>都心部</td> <td>未立地</td> <td>立地済</td> <td>誘導済</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">地域交流拠点</td> <td>鳥取大通地区</td> <td></td> <td>誘導済</td> <td>立地済</td> </tr> <tr> <td>新橋大通地区</td> <td></td> <td>立地済</td> <td>立地済</td> </tr> <tr> <td>桜ヶ岡地区</td> <td></td> <td>立地済</td> <td>立地済</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">生活拠点</td> <td>大楽毛地区</td> <td></td> <td>未立地</td> <td>未立地</td> </tr> <tr> <td>星が浦地区</td> <td></td> <td>立地済</td> <td>未立地</td> </tr> <tr> <td>昭和地区</td> <td></td> <td>立地済</td> <td>立地済</td> </tr> <tr> <td>春採下町地区</td> <td></td> <td>立地済</td> <td>立地済</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> <td>上限1億5,000万円 (1,500万円/年)</td> <td>上限2,000万円 (200万円/年)</td> <td>上限3,000万円 (300万円/年)</td> </tr> </tbody> </table>	拠点分類	地区	大規模集客施設	食料品小売店 (1,500m ² 以上)	内科を有する 医療施設	広域中核拠点	都心部	未立地	立地済	誘導済	地域交流拠点	鳥取大通地区		誘導済	立地済	新橋大通地区		立地済	立地済	桜ヶ岡地区		立地済	立地済	生活拠点	大楽毛地区		未立地	未立地	星が浦地区		立地済	未立地	昭和地区		立地済	立地済	春採下町地区		立地済	立地済	備考		上限1億5,000万円 (1,500万円/年)	上限2,000万円 (200万円/年)	上限3,000万円 (300万円/年)
拠点分類	地区	大規模集客施設	食料品小売店 (1,500m ² 以上)	内科を有する 医療施設																																										
広域中核拠点	都心部	未立地	立地済	誘導済																																										
地域交流拠点	鳥取大通地区		誘導済	立地済																																										
	新橋大通地区		立地済	立地済																																										
	桜ヶ岡地区		立地済	立地済																																										
生活拠点	大楽毛地区		未立地	未立地																																										
	星が浦地区		立地済	未立地																																										
	昭和地区		立地済	立地済																																										
	春採下町地区		立地済	立地済																																										
備考		上限1億5,000万円 (1,500万円/年)	上限2,000万円 (200万円/年)	上限3,000万円 (300万円/年)																																										
①立地適正化推進補助金 ・対象施設 2件 ・交付総額 5,000千円 (10年間交付の4年目)	①立地適正化推進補助金 ・対象施設 2件 ・交付総額 5,000千円 (10年間交付の4年目)																																													



3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープラン、立地適正化計画及び緑の基本計画に位置付けるまちづくりの実現に向けては、市民、事業者の理解、協力の下、長期間に渡り息の長い取組を継続的に進めていくことが必要である。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 立地適正化計画に位置付けるまちづくりの実現に向けては、市民、事業者の理解、協力の下、長期間に渡り息の長い取組を継続的に進めていくことが必要である。 				
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、計画に位置付けるまちづくりを推進していくとともに、立地適正化計画について、防災まちづくりの推進を図るための防災指針を進める。 都市機能誘導区域内において対象となる誘導施設を整備する事業者への補助金を交付する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 都市機能誘導区域内において対象となる誘導施設を整備する事業者への補助金を交付する。 				

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	釧路駅周辺整備推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	都市整備部都心部まちづくり推進室
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 釧路市都市計画マスタープラン 釧路市地域公共交通網形成計画 釧路都心部まちづくり計画【事業構想編】 都心部地区交通戦略
目的と概要	まちの顔である釧路駅周辺の再整備(都心部道路網の再編や土地区画整理事業等の面的整備)を推進し、東北北海道の中核都市として、拠点機能の充実と賑わいの創出を図る。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	33,191	74,193	78,814
財源	一般財源 (千円)	33,191	2,128	2,961
	国道支出金 (千円)			11,000
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		72,065	64,853
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	21,201	21,120	21,645
①	職員数 (人)	3.0	3.0	3.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		466.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口		159,014人 (R5.3末現在)		
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画	(2) 事業の実績と成果
<p>(1) 釧路都心部まちづくり計画【事業構想編】及び都心部地区交通戦略の推進検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道高架を基本としたまちづくりの実現に向けて、釧路都心部まちづくり計画【事業構想編】及び都心部地区交通戦略に基づき、将来のハード整備に向けた各種検討及び取組を進める。 ・本業務に関する情報の周知や気運の醸成を目的に市民説明会及びフォーラムを開催する。 	<p>(1) 釧路都心部まちづくり計画【事業構想編】及び都心部地区交通戦略の推進検討</p> <p>◎釧路駅周辺の土地利用や交通結節機能の配置、公共空間の形態等について「釧路都心部まちづくり推進協議会(準備会)」及び「RINK釧路まちづくり交通戦略会議」における議論や市内部での検討を経て、釧路駅周辺の再整備方針案を2案作成し、公表した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道高架後の交通ネットワークやウォーカブル道路としての北大通の再構築等に関する調査、検討を行った。 ・市民説明会(7月～8月、計7回、延98名参加)及びフォーラム(2月、約300名参加)を開催した。 ・「RINK釧路まちづくりラボ」から派生した学生団体「くしラボ」により、北大通周辺においてまち歩きイベントが開催された。(5月、10月、2月の計3回)
 <p>2021(令和3)年3月 ★釧路市</p>	 <p>左: 釧路都心部まちづくり推進協議会(準備会)(1回開催) 中央: RINK釧路まちづくり交通戦略会議(1回開催) 右: まち歩きイベント(全3回開催)</p>
<p>左: 釧路都心部まちづくり計画【事業構想編】 右: 都心部地区交通戦略</p>	<p>(2) 土地区画整理事業の事業調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地建物について登記簿の調査を実施するとともに、将来の事業計画(案)等の作成に向けて事業の概要案を3案作成し、あわせて、事業化に向けての検討課題等を整理した。 <p>(3) 高架下道路の概略設計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定していた2路線の概略設計を実施し、あわせて、鉄道高架後の鉄道施設と関連する課題等を整理した。 <p>(3) 高架下道路の概略設計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の北中跨線橋(市道 宝橋通)及び木工場踏切(市道 鉄北東2線1)の位置に整備予定である、鉄道高架後の道路について概略設計を実施する。

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">評価</td> <td style="border: 1px solid black;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">評価</td> <td style="border: 1px solid black;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関(国土交通省、北海道、鉄道事業者)などと協議を行い、街路整備事業、土地区画整理事業の概略設計などを推進する必要がある。 ・街路空間の利活用やバス待合環境整備などの社会実験を実施し、都心部地区交通戦略を推進する必要がある。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関(国土交通省、北海道、鉄道事業者)などと協議を行い、街路整備事業、土地区画整理事業の概略設計などを推進する必要がある。 ・街路空間の利活用などの社会実験を実施し、都心部地区交通戦略を推進する必要がある。 				
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関(国土交通省、北海道、鉄道事業者)と協議を行う。 ・街路整備事業、土地区画整理事業の概略設計などを推進する。 ・都心部地区交通戦略を推進する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関(国土交通省、北海道、鉄道事業者)と協議を行う。 ・街路整備事業、土地区画整理事業の概略設計などを推進する。 ・都心部地区交通戦略を推進する。 				

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	公共交通活性化事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	総合政策部都市経営課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市都市計画マスタープラン 釧路市立地適正化計画 釧路都市圏の都市交通マスタープラン
目的と概要	人口減少や少子高齢化、自動車依存の高まりにより、バスなどの公共交通利用者が減少し、路線の確保・維持が課題となっている。 持続可能な公共交通を実現するため、過度に自動車へ依存する社会基盤を見直し、まちづくりと一体となった、利用者のニーズを把握した適切な公共交通体系の再構築を検討する。また、JR北海道単独では維持困難とされた釧網本線等の存続と活性化を図るため、沿線自治体等と連携した取組みを進める。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		1,120	1,535	3,151
財源	一般財源 (千円)	1,120	1,535	2,380
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			771
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考 職員人件費 (千円)		10,601	10,560	10,823
① 職員数 (人)		1.5	1.5	1.5
参考 市民一人あたりの費用 (円)			9.7	
② 市民一人あたりの将来負担額 (円)			0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>①地域公共交通活性化協議会の開催 法定協議会である地域公共交通活性化協議会の事務局として、地域公共交通網形成計画及び再編実施計画に基づいた事業実施に向けた協議を行うとともに、釧路市として負担金を支出し協議会の運営を支援する。</p> <p>②地域公共交通再編実施計画の着実な推進 再編実施計画の進捗管理及び路線バスキャッシュレス化について商業施設等と連携した周知活動を行い、公共交通の利用促進を図る。</p> <p>◀参考：地域公共交通のめざすイメージ▶</p>  <p>③JR釧網本線維持活性化沿線協議会・関連部会の開催及び取組みの実施 JR釧網本線維持活性化沿線協議会、同作業部会及びJR釧網本線維持活性化実行委員会の事務局として、JR北海道や沿線自治体とともに釧網本線の維持・活性化に向けた取組みを進めるとともに、釧路市として負担金を支出し協議会の運営を支援する。</p>	<p>①地域公共交通活性化協議会の開催 3回開催(R4.6月、R4.7月、R5.3月)</p> <p>②地域公共交通再編実施計画の着実な推進 令和4年10月に行われた路線バスの運行計画変更や路線バスキャッシュレス化、バスロケーションシステム、循環バスぐるっとなどについて広報紙やチラシでの周知を行い、利用促進を図った。 併せて、乗合タクシー桂恋三津浦線の予約方法変更を行い、利用者の利便性向上を図った。</p>   <p>▲広報くしろ10月号 ▲桂恋三津浦線チラシ (対象世帯へ配布)</p> <p>③JR釧網本線維持活性化沿線協議会・関連部会の開催及び取組みの実施 ・協議会(1回)、作業部会(3回)、実行委員会(1回)開催 ・釧網本線の新たなファン獲得に向けた取組として、web環境を活用したバーチャルな旅行体験であるリモートトラベル、民間会社が運営するサイト内に沿線地域の情報記事の掲載、「サイクルトレインモニターツアー」「海明け物語号の旅」、観光列車運行時の沿線駅でのおもてなしを実施した。</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 拡充	
課題	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりや観光振興等との一体性を確保した上、地域特性に応じた効率的で利便性の高い公共交通網を形成するため、市民や事業者と認識を共有化することが重要である。 釧網本線等の維持・活性化に向け、関係機関が一体となった取組みが必要である。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりや観光振興等との一体性を確保した上、地域特性に応じた効率的で利便性の高い公共交通網を形成するため、市民や事業者と認識を共有化することが重要である。 釧網本線等の維持・活性化に向け、関係機関が一体となった取組みが必要である。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通網形成計画の取組みを推進するため、令和元年度に策定した地域公共交通再編実施計画に基づく、段階的な路線再編とその効果検証を行っていく。 釧網本線等の維持・活性化に向け、JR北海道や沿線自治体と連携して取組みを進めて行く。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通網形成計画の取組みを推進するため、令和元年度に策定した地域公共交通再編実施計画に基づく、段階的な路線再編とその効果検証を行っていく。併せて、利用促進策を引き続き実施していく。 釧網本線等の維持・活性化に向け、JR北海道や沿線自治体と連携して取組みを進めて行く。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	旧日本銀行釧路支店活用促進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	総合政策部都市経営課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	リバーサイドの景観や賑わいづくりにとって重要な役割を果たしている旧日本銀行釧路支店の建物は、多くの市民の思いを受けて平成27年に外観の保存を目的に取得し、建築から70年が経過している。老朽化が進み、利活用を図るためには耐震改修工事が必要であり、市内外より建物存続の手法や活用方法について幅広く提案を募り、さまざまな視点で方向性を探る。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>①サウンディング型市場調査の実施 旧日本銀行釧路支店の商業利用での再活用において、最適な活用方法、事業手法、各事業リスクへの対処方針等の情報を収集し、今後の検討材料とすることを目的として実施する。</p> <p>②旧日本銀行釧路支店の維持管理</p>	<p>①サウンディング型市場調査の実施 不動産開発、不動産コンサルティング、不動産リノベーション、公共事業の各領域に深い知見を持つ7名を対象にサウンディング調査を行い、民間活用の可能性の意見を得た。民間活用の可能性については、今後さらに検討し、方向性を出していく。</p> <p>②旧日本銀行釧路支店の維持管理 敷地内草刈り(5月実施)</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	1,295	3,050	75
財源	一般財源 (千円)	1,295	0	75
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		3,050	
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	1,413	1,408	1,443
①	職員数 (人)	0.2	0.2	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		19.2	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/>		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/> <input type="text" value="継続維持"/>	
課題	評価を実施していないため、空欄となります。	課題	・ 物件の活用について、様々な角度(民間活用など)から検討する必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	評価を実施していないため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	・ 令和5年度の結果を踏まえて必要な作業を進める。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	生活交通バス路線運行維持対策補助金<9月補正><2月補正>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	市民環境部市民生活課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市都市計画マスタープラン 釧路市地域公共交通網形成計画 釧路市地域公共交通再編実施計画
目的と概要	路線バスは、移動手段を持たない地域住民にとって必要不可欠でありながら、人口減少や自動車保有台数の増加により、輸送人員が減少し地域住民の生活に必要なバス路線の維持が困難となっている。このようなことから、生活交通路線として必要なバス路線を維持・確保するため、赤字路線に対して補助金を交付することで、地域住民の足の確保に努めている。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		274,228	272,091	0
財源	一般財源 (千円)	274,228	272,091	0
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	6,360	6,336	0
①	職員数 (人)	0.9	0.9	
参考	市民一人あたりの費用 (円)		1,711.1	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
①地域幹線系統確保維持費 ●国及び道の補助金減額等に係る釧路市生活交通路線維持対策費補助金交付要綱制度分 ・経常収益(計画)が経常費用(計画)の11/20に満たないものの補填 ・みなし運行回数による減額補填分 平均乗車密度(1回の運行当たりの輸送人数)が5人未満の路線については、補助対象経費の一部が減額されるため、その減額分を補填 ・経常費用(実績)と経常費用(計画)との差額補填分 経常費用(実績)が経常費用(計画)を上回った場合に生じる差額の補填 ②広域生活交通路線維持費 ●北海道生活交通路線維持対策事業費補助金交付要綱制度分補助対象経費の1/2を補助、道の補助金減額等に係る釧路市生活交通路線維持対策費 ・経常収益が標準経常費用の11/20に満たないものの補填 ・みなし運行回数による減額補填分 平均乗車密度(1回の運行当たりの輸送人数)が5人未満の路線については、補助対象経費の一部が減額されるため、その減額分を補填 ・実車単価が地域標準単価を上回ることによって発生する経常費用差額分実車キロ当たり単価と地域標準単価の比較による補助対象経費算定により生ずる差額補填分 ③市町村生活バス路線維持費 ●北海道生活交通路線維持対策事業費補助金交付要綱制度分補助対象経費の9/10を補助 ④市町村単独補助路線維持費 ●釧路市生活交通路線維持対策費補助金交付要綱制度分、釧路市生活交通路線維持対策費補助金の特例に関する要綱 ・市町村単独補助路線の欠損額を補助 ⑤地域内フィーダー系統確保維持費 ●釧路市生活交通路線維持対策費補助金交付要綱制度分 ・地域内フィーダー系統確保維持費の国庫補助を除いた欠損額を補助	①地域幹線系統確保維持費 補助金:106,614千円(釧路根室線など13系統) くしろバス(株) 9系統 65,565千円 阿寒バス(株) 3系統 32,030千円 くしろバス(株)、根室交通(株) 1系統 9,019千円 ②広域生活交通路線維持費 補助金:20,721千円(新富士新野線など3系統) くしろバス(株) 3系統 20,721千円 ③市町村生活バス路線維持費 補助金:16,944千円(阿寒本町線(山花経由)) 阿寒バス(株) 1系統 16,944千円 ④市町村単独補助路線維持費 補助金:116,332千円(武佐線など22系統) くしろバス(株) 15系統 85,072千円 阿寒バス(株) 7系統 31,260千円 ⑤地域内フィーダー系統確保維持費 補助金:11,480千円(ぐるっとなど5系統) くしろバス(株) 1系統 2,751千円 阿寒バス(株) 4系統 8,729千円 ◎成果 生活交通路線として必要なバス路線を維持・確保した。また、未だ続く新型コロナウイルスの影響による利用者減により不安定となっているバス事業者のキャッシュフローの安定化をはかるため、一部を前倒しで支出することで事業者の経営を支援した。 10月支払額 くしろバス(株) 154,629千円 阿寒バス(株) 84,414千円

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="width: 50px;">評価</td> <td style="width: 100px;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="width: 50px;">評価</td> <td style="width: 100px;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	・人口減少などに伴うバス利用者の減少。 ・コロナ禍による利用者の減少。	課題	・人口減少などに伴うバス利用者の減少。 ・不採算路線などの路線存続				
今後(令和5年度以降)の方向性	・本事業は、住民にとって重要であることから、これまで同様にバス事業者としっかり連携しバス路線の維持及び確保を行う。 ・様々な機会を捉え、国や道に支援・強化を要請していく。	今後(令和6年度以降)の方向性	・移動手段を持たない利用者には必要不可欠であることから、バス事業者との連携をさらに強化し、今後も生活交通バス路線を維持及び確保する。 ・国や道に対して、継続的な支援や補助内容の強化を要請していく。				

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	都市部官民境界先行調査事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	都市整備部道路河川課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	<p>【目的】津波等災害被災時における都市機能の速やかな復旧・復興、ならびに公物管理の適正化のため、官民の境界を確定させる。</p> <p>【概要】旧釧路地区のDID地区41.14km²(平成27年度)のうち調査対象30.63km²を150区画に分け、官民および官官境界の測量調査を行い境界を確定させ成果を法務局へ登記する。</p>

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>都市部官民境界先行調査 調査地区No.61(東川町)0.19km²の官民境界調査 C=3,938千円(FⅡ-1,FⅡ-2,G,H工程)</p> <p>※ E2工程 : 現地調査 (筆界の確認作業、現地立会)</p> <p>FⅡ-1工程 : 先行筆界点測量 (立会確認した筆界杭の測量)</p> <p>FⅡ-2工程 : 街区調査図等作成 (街区調査図原図作成)</p> <p>G工程 : 街区面積計算 (街区面積測定簿の作成)</p> <p>H工程 : 街区整理簿作成 (街区調査図、街区整理簿作成)</p>	<p>都市部官民境界先行調査 調査地区No.61(東川町)0.19km²の官民境界調査 C=3,597千円(FⅡ-1,FⅡ-2,G,H工程)</p> <p>※ E2工程 : 現地調査 (筆界の確認作業、現地立会)</p> <p>FⅡ-1工程 : 先行筆界点測量 (立会確認した筆界杭の測量)</p> <p>FⅡ-2工程 : 街区調査図等作成 (街区調査図原図作成)</p> <p>G工程 : 街区面積計算 (街区面積測定簿の作成)</p> <p>H工程 : 街区整理簿作成 (街区調査図、街区整理簿作成)</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		4,333	3,876	0
財源	一般財源 (千円)	1,183	1,116	0
	国道支出金 (千円)	3,150	2,760	
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	4,947	4,928	0
①	職員数 (人)	0.7	0.7	0.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		24.4	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				



3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
<p>該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持</p>		<p>該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 終了</p>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 対象面積の調査終了までは、長い時間と膨大な手間や経費を必要とする。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 対象面積の調査終了までは、長い時間と膨大な手間や経費を必要とする。また、令和3年7月の国土調査法改正により、官民境界等先行調査から街区境界調査に移行しなければならないことや、業種が特殊であることに加え、市や業者の技術者不足により、事業規模や現行体制について、検討の必要が生じている。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 旧釧路地区は、地籍調査未実施であることから、大規模災害の際に土地境界を復元するためには多大な時間と労力を費やす事となる。このため、人口が集中している地域において、国の支援を効果的に活用し、官民の土地境界を確定させる事により、迅速な復旧・復興が可能となる。また、境界が確定する事により、道路境界の適正化も図られることから継続して事業を実施していく。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 業務の特殊性に加え、調査手法が官民境界等先行調査から街区境界調査に移行したことにより、当初想定していた業務以上となったため、市や業者の体制を整えることができないことから、当分の間、事業を休止することとする。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	市道整備事業<繰越明許費><当初>
分類	令和3年度予算繰越明許事業 令和4年度予算の主要事業
所管課・室	都市整備部道路河川課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 釧路市橋梁長寿命化修繕計画 釧路市地域防災計画
目的と概要	生活道路の整備により、地区環境の向上や交通安全性の確保が図られる。 老朽化した橋梁を計画的に修繕することにより長寿命化と維持管理コストの縮減を図る。 釧路市津波避難計画に基づき、大津波発生に対応する緊急避難用道路を整備することで、市民の安全で円滑な避難を実現する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
○舗装新設・排水設備費(市単独事業) 星が浦北1号 L=130.0m W=10.0m 測量設計・調査等 1式 ○社会資本整備総合交付金対象事業費(道路メンテナンス補助事業) 鳥取橋 長寿命化修繕 1式 ○緊急避難用道路整備事業費(交付金事業) 新釧路川左岸通2 載荷盛土工 1式【当初】 新釧路川左岸通2 路盤工 1式【R4.2月補正・R4年度繰越】 ○【ゼロ市】舗装新設・排水設備費(市単独事業) 鳥取北10線 L=110.0m W=11.0m 愛国東17号2 L=190.0m W=7.0m 測量設計 1式	○舗装新設・排水設備費(市単独事業) 星が浦北1号 L=130.7m W=10.0m 測量設計・調査等 1式 ○社会資本整備総合交付金対象事業費(道路メンテナンス補助事業) 鳥取橋 長寿命化修繕 1式 ○緊急避難用道路整備事業費(交付金事業) 新釧路川左岸通2 載荷盛土工 1式【当初】 新釧路川左岸通2 路盤工 1式【R4.2月補正・R4年度繰越】 ○【ゼロ市】舗装新設・排水設備費(市単独事業) 鳥取北10線 L=106.9m W=11.0m 愛国東17号2 L=189.9m W=7.0m 測量設計 1式
◎交付金事業については予算要求額に対する交付決定額が減額されたが、補正予算を活用し事業の進捗を図った。市単独事業については概ね順調に進捗し、市民生活の利便性及び交通安全性が向上した。	

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		476,818	499,214	612,895
財源	一般財源 (千円)	30,490	35,675	43,555
	国道支出金 (千円)	154,528	111,239	217,440
	地方債 (千円)	291,800	352,300	351,900
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	42,402	42,240	43,290
①	職員数 (人)	6.0	6.0	6.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		3,139.4	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		2,215.5	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				



3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="width: 50px;">評価</td> <td style="width: 100px;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="width: 50px;">評価</td> <td style="width: 100px;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	<ul style="list-style-type: none"> 交付金事業の予算要求額に対する交付決定額が減額される傾向にあることから、事業執行については再検討が必要となる。 全道において跨線橋の点検や長寿命化修繕の業務が集中しており、また、補修に伴うJRとの個別協議において、条件整理等に時間を要している。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 交付金事業の予算要求額に対する交付決定額が減額される傾向にあることから、事業執行については再検討が必要となる。 全道において跨線橋の点検や長寿命化修繕の業務が集中しており、また、補修に伴うJRとの個別協議において、条件整理等に時間を要している。 				
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 交付金事業については、国の補正予算の活用や重点施策に合致する事業について検討を進める。 JRIに長寿命化修繕事業の早期実施の理解・協力を得るため、引続き協議を進める。 引続き関係機関との協議を進め、新釧路川左岸通の整備を進める。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 交付金事業については、国の補正予算の活用や重点施策に合致する事業について検討を進め、橋梁長寿命化については、更なる対応に向け検討を進める。 JRIに長寿命化修繕事業の早期実施の理解・協力を得るため、引続き協議を進める。 引続き関係機関との協議を進め、新釧路川左岸通の整備を進める。 				

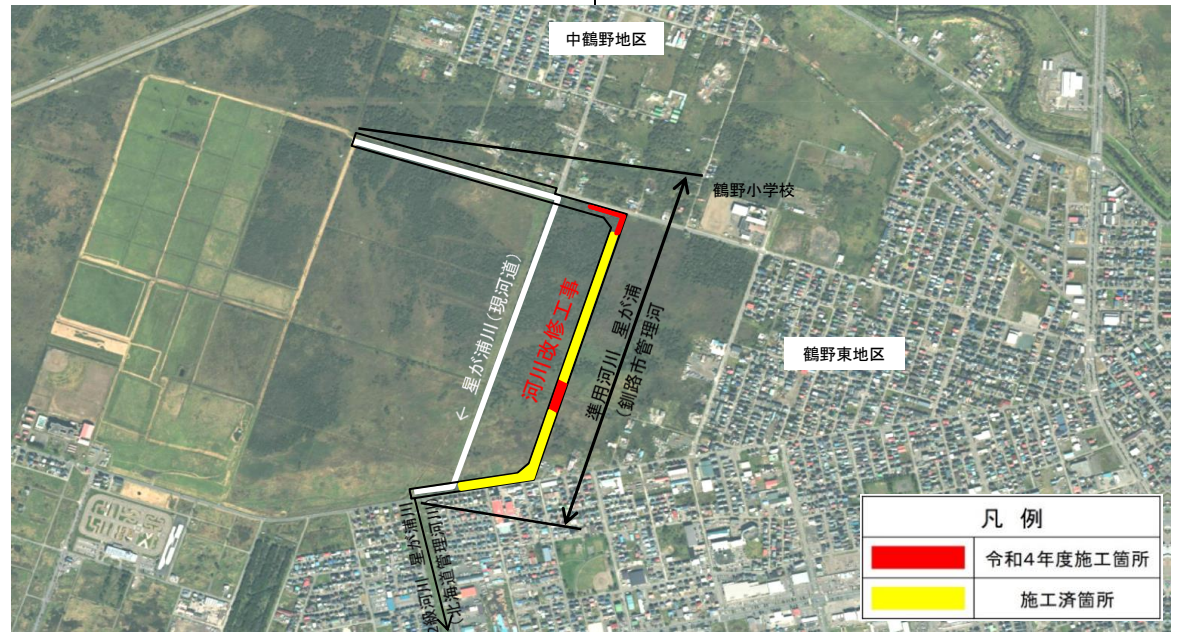
令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	低地帯浸水対策事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	都市整備部道路河川課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	鶴野東、中鶴野地区の低地帯では、大雨等による道路冠水や住宅浸水の被害が発生しており、地域住民の生命と財産を守り、防災上の観点からも早急な河川整備が求められている。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画	(2) 事業の実績と成果
①地権者協議 星が浦川河川改修計画にむけ、地権者(土地所有者)との協議を継続実施する。 ②星が浦川河川改修工事 星が浦川河川改修工事を行う。	①地権者協議 現河道および接続排水路の今後の取扱いについて、地権者と協議を実施した。 ②星が浦川河川改修工事 河川改修工事を行った。 L=178m(全長:1,800m, 施工総延長:965m)



【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		245,584	264,640	405,272
財源	一般財源 (千円)	184	10,740	7,072
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)	245,400	253,900	398,200
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	13,427	13,376	13,709
①	職員数 (人)	1.9	1.9	1.9
参考	市民一人あたりの費用 (円)		1,664.3	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		1,596.7	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td>評価</td> <td>継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td>評価</td> <td>継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、現河道の埋戻しや地権者所有排水路の接続替え等の補償方法について協議を進めて行く必要がある。河川整備と公共下水道(雨水)整備の相乗効果により水害による被害の解消が図られることから関係部署との連携も重要。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、現河道の埋戻しや地権者所有排水路の接続替え等の補償方法について協議を進めて行く必要がある。河川整備と公共下水道(雨水)整備との相乗効果により水害の解消が図られることから関係部署との連携を図る。 				
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に河川改修工事を進めていく。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に河川改修工事を進めていく。 				

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	港湾施設改修事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	水産港湾空港部港湾空港課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 (釧路市・港湾)社会資本整備総合整備計画
目的と概要	国の補助金等により釧路港における老朽化した港湾施設を計画的に整備することで、施設の長寿命化を図り、港湾利用者の安全を確保し、効率的な港湾環境を形成する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>(西港区) 西港道路改修</p>  <p>第2埠頭改修</p>  <p>第3埠頭改修</p> 	<p>(西港区) 西港道路改修(事業費:23,485千円) ◎切削・オーバーレイ L=211.23m</p>  <p>第2埠頭改修(事業費:34,210千円) ◎防眩材取替7基</p>  <p>第3埠頭改修(事業費:40,040千円) ◎防眩材取替18基</p> 

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
財源	事業費 総額 (千円)	73,444	98,021	150,188
	一般財源 (千円)	224	843	88
	国道支出金 (千円)	23,320	32,578	46,000
	地方債 (千円)	49,900	64,600	104,100
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	21,201	21,120	21,645
①	職員数 (人)	3.0	3.0	3.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		616.4	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		406.3	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 拡充		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 拡充	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 建設後50年以上の施設は、令和3年の17%から年々増加し、令和13年には38%となり、補修・修繕を要する施設が増加する。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 建設後50年以上の施設が、10年後には全体の約4割となることから、計画的に補修・修繕を行っていく必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 港湾施設の補修箇所の優先順位付け 港湾施設の計画的な更新の検討 港湾施設の補修・更新予算の拡充 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 港湾施設の補修箇所の優先順位付けに基づいた計画的な更新の検討 港湾施設の補修・更新に係る事業費の平準化を見据えた予算の拡充

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	港湾計画推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	水産港湾空港部港湾空港課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路港港湾計画
目的と概要	港湾計画の推進に向けた関係機関との調整や関連計画の策定、社会情勢の変化に対応した港湾計画の見直し等を実施する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>●港湾計画の推進 港湾計画の推進に向けた関係機関との調整や関連計画の検討及び社会情勢の変化に対応した計画の見直し等を行うため、以下の調査や協議を行う。</p> <p>○物流・動態基礎調査 2011年(平成23年)の釧路港港湾計画改訂後、本港を取巻く諸情勢が大きく変化していることから、次の港湾計画改訂の基礎資料となる将来の取扱貨物量推計を行う。</p> <p>○施設整備検討調査 東港区への大型船舶の受入に向けて検討した施設配置(案)をもとに、大型船舶の入出港操船シミュレーションを実施し、入出港時の安全性を検証する。</p> <p>○国際バルク戦略港湾 国際バルク戦略港湾としての利便性向上に向け、トランシップ(船から船への積み替え)に必要な施設整備を国に要望する。</p>	<p>●港湾計画の推進 関係機関と調整を行いながら、社会情勢の変化に対応した計画の見直しのため、以下の調査や協議を行った。</p> <p>◎物流・動態基礎調査 取扱貨物量の推移や本港の背後圏における社会経済環境の変化、新たに展開されているプロジェクトの動向などの現状を整理した後、ひがし北海道に立地する荷主企業、運送企業等へのアンケートやヒアリング調査により本港の利用動向及び貨物需要の動向などを把握し、将来取扱貨物量の推計を行った。</p> <p>◎施設整備検討調査 ビジュアル操船シミュレータでの入出港操船シミュレーションの結果、入出港時の安全性が確認された。</p> <div style="text-align: center;"> <p>【写真】操船シミュレーションの操船状況</p>  </div> <p>◎国際バルク戦略港湾 トランシップに必要な施設(防舷材8基)を国が整備したことから、令和5年1月にトランシップ施設の供用を開始した。</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		280	29,519	21,976
財源	一般財源 (千円)	280	919	2,286
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		28,600	19,690
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	21,201	14,080	21,645
①	職員数 (人)	3.0	2.0	3.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		185.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 防災機能向上のための釧路港港湾BCPフォローアップによるソフト対策の充実 国際バルク戦略港湾の役割を担うため、水域施設の早期整備 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 防災機能向上のための釧路港港湾BCPフォローアップによるソフト対策の充実 水域施設の水深確保による国際バルク戦略港湾としての機能維持
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 国際バルク戦略港湾の役割を担うため、水域施設の早期整備に向けて関係機関と調整等を実施する。 港湾計画改訂に向けて関係機関と調整等を進める。 釧路港港湾BCP改訂等に向けて検討を進める。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 国際バルク戦略港湾の役割を担うため、水域施設の漂砂堆積による水深不足解消に向けた関係機関との調整等を実施する。 港湾計画改訂に向けて関係機関と調整等を進める。 釧路港港湾BCP改訂等に向けて情報収集を行う。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	国直轄港湾工事負担金<繰越明許費><当初><2月補正>
分類	令和3年度予算繰越明許事業 令和4年度予算の主要事業
所管課・室	水産港湾空港部港湾空港課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 釧路港湾計画
目的と概要	釧路港は、我が国の食料基地であるひがし北海道一円を背後圏としており、地域の暮らしや産業はもとより、我が国の食料供給を支える重要な港湾である。ひがし北海道の物流拠点港として、西港区の施設整備の促進を図ることで、外内貿物流機能を強化し、国際及び国内海上輸送の効率的な物流体系の形成を目指す。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画	(2) 事業の実績と成果
<p>①防波堤(島) 西港地区の航行・係留船舶の安全性を向上させるとともに、環境共生型の施設(エコポート事業)として整備を進めることで、新たな生態系・自然環境を創造する。</p> <p>②防波堤(新西) 西港地区の航行・係留船舶の安全性向上及び、航路・泊地の埋没対策として、施設整備を進める。</p> <p>③泊地浚渫(しゅんせつ) 漂砂等により水深が浅くなった航路・泊地の浚渫を行うことにより、航行船舶の安全性を向上させることを目的とする。</p> <p>④防波堤(西)(改良) 船舶の航行の安全を確保する為、老朽化した防波堤の改良を行う。</p>	<p>①防波堤(島) 【市負担金: 85,473千円】 ◎胸壁工等: 各1式</p> <p>②防波堤(新西) 【市負担金: 76,524千円】 ◎上部工等: 各1式</p> <p>③泊地浚渫 【市負担金: 462,651千円】 ◎泊地浚渫、土砂処分場等: 各1式</p> <p style="text-align: center;">【写真】土砂処分場ケーソン据付状況</p>  <p>④防波堤(西)(改良) 【市負担金: 15,150千円】 ◎上部工、消波工等: 各1式</p> <p style="text-align: center;">【写真】上部工施工状況</p> 

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		718,810	639,798	904,050
財源	一般財源 (千円)	110	98	150
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)	718,700	639,700	903,900
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	7,040	7,215
①	職員数 (人)	1.0	1.0	1.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		4,023.5	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		4,022.9	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 国の事業費の削減により、事業の進捗が遅れている。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 労務費や資材費の上昇による建設コストの高騰から、事業の進捗がやや遅れている。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の効果を早期に発現させるため、必要な予算確保に向けて関係機関との調整を行い、早期完成を目指す。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の効果を早期に発現させるため、必要な予算確保に向けて関係機関との調整を行い、早期完成を目指す。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	港湾開発整備促進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	水産港湾空港部港湾空港課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	港湾関係者との連携によるポートセールスの実施及びクルーズ船の安定的寄港に向けての戦略的な誘致と歓迎行事等の実施により、賑わいのある港づくりを進め、釧路港の利用促進を図るとともにひがし北海道の拠点港としての役割を果たす。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画		(2)事業の実績と成果																																																				
<p>●ポートセールスの取り組み</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【ポートセールス】</p> <p>■ソフト事業</p> <p>□官民一体となりポートセミナーを開催</p> <p>□港湾事業者個々の営業活動等</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【港湾の整備】</p> <p>■ハード事業</p> <p>□港湾施設の整備促進や荷役環境整備等</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">↓ ↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>【予想される事業効果として】</p> <p>■物流定期航路の誘致開設</p> <p>■集荷活動の拡大等</p> </div>		<p>●ポートセールスの取り組み</p> <p>◎ポートセミナー活動実績(直接的事業効果指標)</p> <p>・R4(2022)は、約3年ぶりに首都圏でセミナーを開催し、93社166名が参加し、釧路港のPRを行った。(市公式YouTubeでセミナー内容をアーカイブ配信)</p> <p>◎年間外貿コンテナ実績(間接的評価指標)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>年</th> <th>合計</th> <th>輸出</th> <th>輸入</th> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>29,930</td> <td>15,030</td> <td>14,900</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>21,648</td> <td>10,685</td> <td>10,963</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※R4は速報値</p> <p>※TEUとは、コンテナ船の積載能力を示す単位であり、1TEUは20フィートコンテナ1個分</p> <p>◎取扱貨物量(間接的評価指標) (単位:t)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>年</th> <th>総計</th> <th>輸出(国外)</th> <th>輸入(国外)</th> <th>移出(国内)</th> <th>移入(国内)</th> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>14,030,981</td> <td>223,737</td> <td>2,439,027</td> <td>4,753,121</td> <td>6,615,096</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>13,614,960</td> <td>188,586</td> <td>2,369,404</td> <td>4,567,595</td> <td>6,489,375</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※R4は速報値</p> <p>◎クルーズ船年度別入港実績</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">寄港数(隻)</th> <th rowspan="2">乗船客数(人)</th> <th rowspan="2">入港料(円)</th> </tr> <tr> <th>邦船数</th> <th>外国船数</th> <th>合計数</th> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>444</td> <td>57,896</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※R3はコロナの感染拡大により全て寄港中止</p> <p>◎釧路港PRツールの制作</p> <p>・様々な場面で釧路港をPRするための動画を制作</p> <p>◎クルーズ船誘致のための船社等訪問</p> <p>・日本船社(2社)、船舶総代理店(3社)、旅行代理店(1社)</p> <p>◎フェリー航路就航へ向けての船社訪問</p> <p>・フェリー船社(1社)</p>		年	合計	輸出	輸入	R3	29,930	15,030	14,900	R4	21,648	10,685	10,963	年	総計	輸出(国外)	輸入(国外)	移出(国内)	移入(国内)	R3	14,030,981	223,737	2,439,027	4,753,121	6,615,096	R4	13,614,960	188,586	2,369,404	4,567,595	6,489,375	年度	寄港数(隻)			乗船客数(人)	入港料(円)	邦船数	外国船数	合計数	R3	0	0	0	-	-	R4	2	0	2	444	57,896
年	合計	輸出	輸入																																																			
R3	29,930	15,030	14,900																																																			
R4	21,648	10,685	10,963																																																			
年	総計	輸出(国外)	輸入(国外)	移出(国内)	移入(国内)																																																	
R3	14,030,981	223,737	2,439,027	4,753,121	6,615,096																																																	
R4	13,614,960	188,586	2,369,404	4,567,595	6,489,375																																																	
年度	寄港数(隻)			乗船客数(人)	入港料(円)																																																	
	邦船数	外国船数	合計数																																																			
R3	0	0	0	-	-																																																	
R4	2	0	2	444	57,896																																																	
<p>○ポートセミナーの開催</p> <p>□実施主体:釧路市、釧路商工会議所、釧路港湾振興会、釧路港湾協会、釧路食糧基地構想協議会</p> <p>□実施内容:船社、荷主等を招致し、釧路港の利便性を説明</p> <p>○クルーズ船誘致、受入事業</p> <p>□クルーズ船受け入れツールの充実や、ホスピタリティの向上支援</p> <p>□クルーズ船社への訪問、寄港要請</p> <p>○フェリー航路就航へ向けた船社訪問</p>																																																						

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		1,924	2,188	12,224
財源	一般財源 (千円)	1,538	2,188	12,224
	国庫支出金 (千円)	386		
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	7,040	7,215
①	職員数 (人)	1.0	1.0	1.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		13.8	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
<p>該当する自己評価結果をリストから選択してください。</p> <p style="text-align: center;">評価: 継続維持</p>		<p>該当する自己評価結果をリストから選択してください。</p> <p style="text-align: center;">評価: 継続維持</p>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートセミナーは、より一層の利用促進を図るため、新規貨物の発掘や新規航路開拓につながるような取り組みが必要 ・クルーズ誘致、受入事業は、①コロナ禍における感染防止対策 ②受入体制の充実 ③旅客船の大型化への対応 ④経済波及効果を高める対応などが課題となっている。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新規貨物の発掘や新規航路開拓につながるよう、新たなセールス方法の検討が必要 ・クルーズ誘致、受入事業は、①受入体制の充実 ②旅客船の大型化への対応 ③経済波及効果を高める対応の検討が必要
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・背後圏の貨物情報をPR材料としたフェリー船社訪問や港湾関連事業者と連携したセミナーの開催により新規航路開拓につなげる等の様々な事業を継続していく。 ・コロナ禍における外国船クルーズの再開に向けた受入体制等の構築 ・クルーズ船の寄港によるまちなかや地域経済の活性化に資する取り組み 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・背後圏の貨物情報をPR材料とした船社訪問や港湾関連事業者と連携したセミナーの開催により新規航路開拓につなげる等の様々な事業を推進していく。 ・クルーズ船社のニーズに合った観光コンテンツの磨き上げ(観光振興室等との連携) ・国や道、道内他港と連携した海外船社キーパーソン招聘事業等の効果的な寄港誘致に取り組む。 ・クルーズ船の寄港によるまちなかや地域経済の活性化に資する取り組みの検討

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	空港拡張整備促進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部観光振興室
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第二期釧路市観光振興ビジョン 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	釧路空港はひがし北海道の拠点空港として極めて重要な役割を担っていることから、航空会社への要請活動や航空会社と連携した利用促進事業の実施により、航空路線の維持及び利用客数の増加につなげていく。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
【要請活動及び利用促進事業】 ①航空会社要望 東京便の機材大型化、大型化機材の増便、運航期間延長等の要請活動、及び、中部・伊丹線の通年運航及び運航延長への要請活動の実施 ②航空会社 (JAL・ANA・AIRDO・HAC) とタイアップしたWEB等による利用促進事業の実施 ③季節便就航などにおける歓迎行事の実施 (各関係機関との連携) ④「航空乗継利用促進協議会」合同キャンペーンの実施 ⑤Peach関西・成田線における利用促進事業の実施 ⑥名古屋・大阪地区観光プロモーション事業の実施	【要請活動及び利用促進事業】 ①航空会社要望 (令和4年10月4日～7日) 要望先: 日本航空、全日本空輸、Peach Aviation、AIRDO、北海道エアシステム 参加団体: 釧路市、釧路観光コンベンション協会、釧路商工会議所、北海道エアポート ②航空会社 (JAL・ANA・AIRDO・HAC) とタイアップしたWEB等による利用促進事業の実施 《JAL》JAL公式WEB媒体での釧路地域紹介記事掲載 等 《ANA》動画配信サービス「Tver」を活用した広告事業 等 《AIRDO》機内誌、機内ビデオでの情報発信事業 等 ③季節便就航などにおける歓迎行事の実施 (各関係機関との連携) ・JAL中部線初便歓迎: 令和4年8月2日 ④「航空乗継利用促進協議会」合同キャンペーンの実施 ・「航空乗継利用促進協議会 (事務局: 石川県) 主催の乗継利用者対象合同キャンペーン」参加。当選者へ地域産品を提供 ⑤Peach関西・成田線における利用促進事業の実施 ・Peach公式サイト内におけるひがし北海道特集ページとひがし北海道の2次交通・着地型旅行商品紹介ページの制作及びデジタル広告の実施 ⑥名古屋・大阪地区観光プロモーション事業の実施 ・JAL中部線利用促進事業: WEB制作及び広告の実施 ・北海道エアポートと連携した東京現地プロモーション実施

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		12,060	11,561	12,837
財源	一般財源 (千円)	9,060	8,561	137
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	3,000	3,000	12,700
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考 職員人件費 (千円)		7,067	7,040	7,215
① 職員数 (人)		1.0	1.0	1.0
参考 市民一人あたりの費用 (円)			72.7	
② 市民一人あたりの将来負担額 (円)			0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後 (令和6年度以降) の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td>評価</td> <td>継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td>評価</td> <td>継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響に伴う国内航空路線の需要減及び運休や減便などにより、釧路空港における乗降客数や利用率が減少していることから、航空会社との連携による需要喚起に向けた取り組みが求められている。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 釧路空港における乗降客数については、いまだコロナ禍前の水準に満たないことから、乗降客数及び利用率の増加に向けた取り組みが必要である。また、閑散期 (冬季) の乗降客数増加による年間を通しての乗降客数の平準化、及び当地域からの送客強化についても関係機関と連携し取り組んでいく必要がある。 				
今後 (令和5年度以降) の方向性	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍からの航空需要の回復に向けて、航空会社との連携によるWEBを活用した情報発信などの利用促進事業の継続のほか、当地域からの送客強化に向けた取り組みなど、「くしろ広域観光誘致推進協議会」が中心となり、利用率向上と路線の維持・定着化に向けた活動を進めていく。 	今後 (令和6年度以降) の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 航空路線の利用率向上及び乗降客数増加に向けて、航空会社と連携した情報発信事業やプロモーションなどの利用促進事業の継続のほか、当地域からの送客強化に向けた取り組みなど、「くしろ広域観光誘致推進協議会」が中心となりながら関係機関と連携して活動を進めていく。 				

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	釧路空港国際化推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部観光振興室
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第二期釧路市観光振興ビジョン 第二期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	国際定期便の就航による開港空港化を実現し、国際空港への拠点性を高めることで、経済・文化等国際交流の促進や物流拠点としての発展を通じた当地域への更なる外貨獲得等につなげることを目的として、国際航空路線誘致や受け入れ態勢の整備を実施する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>1. 釧路広域観光誘致推進協議会事業 釧路・根室管内の行政・観光協会・民間企業等71団体で構成する本協議会において、釧路空港の管理・運営を行う北海道エアポートをはじめ、北海道運輸局・北海道観光振興機構等と連携して国際定期便・チャーター便誘致並びに広域連携による海外観光客誘致事業を実施し、地域の魅力を生かした交流人口の拡大と経済振興を図る。</p> <p>(1)国際航空路線誘致に向けた海外航空会社等への要請活動 (2)広域連携による海外観光客誘致事業</p> <p>2. 国際定期便及びチャーター便運航、新規定期路線就航に係る補助 (1)新規定期路線就航に係る補助 ・新規定期便就航に係る着陸料、空港施設使用料、デザイン経費の支援(Peach釧路-成田線)</p>	<p>1. 釧路広域観光誘致推進協議会事業 (1)国際航空路線誘致に向けた海外航空会社等への要請活動 新型コロナウイルスの影響により、令和4年度の国際チャーター便の運航実績はなかった。 また、国際航空路線誘致に向けた情報収集などを北海道エアポートなどに対し行った。</p> <p>(2)広域連携による海外観光客誘致事業 ①「台湾TV番組映像・地域観光動画」を活用した台湾への情報発信事業 台湾民視TV「GoGo Taiwan」で放映した釧路湿原・阿寒摩周国立公園特集映像及び釧路市観光動画を掲載した台湾向け地域紹介記事ページの制作、情報発信 釧路観光コンベンション協会と連携実施 ②「YouTube」を活用した台湾への情報発信事業 釧路空港周辺エリアのモデルコース紹介動画制作(台湾向け繁体字版)、情報発信 ひがし北海道自然美への道DMOと連携実施 ③シンガポール「Japan Travel Fair」参加 北海道ブース出展、ステージイベントによる観光PR(来場者3日間合計 約45,000名) 主催:日本政府観光局(JNTO) 北海道エアポート連携事業 ④台湾インバウンド誘客事業 釧路市公式訪問団の台湾訪問(花蓮市、台北市文山区、台北市立動物園、台湾炭鉱博物館)、台北市立動物園内の観光PR、旅行会社セールスコールの実施(太平洋旅行社、山富旅行社、東南旅行社ほか計10社)</p> <p>2. 国際定期便及びチャーター便運航、新規定期路線就航に係る補助 補助対象航空事業者:1社 補助金額:5,204,282円</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		5,452	5,938	1,533
財源	一般財源 (千円)	5,452	5,938	1,533
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	7,040	7,215
①	職員数 (人)	1.0	1.0	1.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		37.3	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う入国制限、国際線の運休・減便などにより、外国人旅行者が大きく減少している。今後、アフターコロナを見据え、海外観光客の需要回復及び国際線誘致活動の再開に向けた取り組みが求められている。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 訪日外国人観光客の受入が再開したものの、国際線の復便が伴っていないこともあり外国人旅行者数は未だコロナ禍前と比較し減少した状況にある。今後、路線の復便などを見据え海外観光客の需要回復に向けたプロモーション活動や国際線誘致活動の実施が求められている。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 訪日外国人観光客の受入が再開し、今後、国際定期便やチャーター便誘致に向けた活動も可能となることから、国際線の誘致等を活動目的としている「釧路広域観光誘致推進協議会」を中心に、北海道エアポート(株)等と連携し、航空会社に対する要請活動や各種プロモーションを実施するなど、海外観光客の需要回復及び国際線誘致につなげていく。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 国際線の誘致等を活動目的としている「釧路広域観光誘致推進協議会」を中心に、北海道エアポート等と連携し、航空会社に対する要請活動や各種プロモーションを実施するなど、海外観光客の需要回復及び国際線誘致につなげていく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	国直轄空港工事負担金<当初><12月補正>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	水産港湾空港部港湾空港課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	国管理空港である「たんちよう釧路空港」がより安全で安定した運航が可能となるよう、国が実施する空港施設の各種改良工事について、地元自治体として北海道とともに一定程度の負担をするもの。 (国85%、北海道7.5%、釧路市7.5%)

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																				
<p>■滑走路端安全区域整備、進入灯橋梁改良</p>	<p>【北海道開発局、東京航空局】 事業費:457,078千円</p> <p>○照明施設(工事費) 進入灯橋梁改良</p> <p>○電源施設(工事費) 飛行場灯台昇降装置更新</p> <p>◎基本施設の更新・改良等により、安定した運航が図られている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>運航予定便数</th> <th>運航実績便数</th> <th>就航率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>10,142</td> <td>9,878</td> <td>97.4%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>7,988</td> <td>7,734</td> <td>96.8%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>7,482</td> <td>7,193</td> <td>96.1%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>9,760</td> <td>9,376</td> <td>96.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※国内定期便に限る。</p>		運航予定便数	運航実績便数	就航率	R1	10,142	9,878	97.4%	R2	7,988	7,734	96.8%	R3	7,482	7,193	96.1%	R4	9,760	9,376	96.1%
	運航予定便数	運航実績便数	就航率																		
R1	10,142	9,878	97.4%																		
R2	7,988	7,734	96.8%																		
R3	7,482	7,193	96.1%																		
R4	9,760	9,376	96.1%																		

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	45,878	33,732	0
財源	一般財源 (千円)	78	3,432	0
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)	45,800	30,300	
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	0
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		212.1	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		190.5	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3未現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/> <input type="text" value="縮小"/>		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/> <input type="text" value="終了"/>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> GBAS着陸システムの導入等、より一層の安定運航が可能となる施設整備 	課題	<ul style="list-style-type: none"> GBAS着陸システムの導入等、より一層の安定運航が可能となる施設整備
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 国の継続工事が終了し、今後は北海道エアポート(株)がほとんどの空港工事を実施するため、負担金は縮小となる。一方で、関係機関には引き続き、より一層の安定運航が可能となる施設整備の要請を継続していくこととする。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 国の継続工事が終了し、今後は北海道エアポート(株)がほとんどの空港工事を実施するため、負担金は一旦終了となる。なお、関係機関には引き続き、より一層の安定運航が可能となる施設整備の要請を継続していくこととする。




令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	公営住宅等建設事業<繰越明許費><当初>
分類	令和3年度予算繰越明許事業 令和4年度予算の主要事業
所管課・室	住宅都市部住宅課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	釧路市住生活基本計画
	釧路市公営住宅等長寿命化計画
目的と概要	公営住宅を計画的に建替とストック改善を行うことにより、住宅セーフティネット機能の安定化と維持管理・運営の効率化を図る。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		938,943	1,476,680	2,024,493
財源	一般財源 (千円)	59,399	100,650	53,890
	国道支出金 (千円)	401,844	727,730	846,603
	地方債 (千円)	477,700	648,300	1,124,000
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	21,201	21,120	21,645
①	職員数 (人)	3.0	3.0	3.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		9,286.5	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		4,077.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
(堀川団地) ・A棟建設工事(建築年次:令和3年度~令和5年度、1棟50戸) ・H3、H4棟解体工事(2棟55戸) ・B棟実施設計、地質調査業務(1棟50戸) (※繰越明許事業のみ) (まりも団地) ・A棟建設工事(1棟8戸) (※繰越明許事業を含む) 建築主体工事、電気設備、管設備、外構工事 ・集会所建設工事 (※繰越明許事業のみ) 建築主体工事、電気設備、管設備、外構工事 (川東団地) ・A棟実施設計、地質調査業務(1棟8戸) (グリーン団地) ・A棟実施設計、地質調査業務(1棟6戸) ・GR01~GR04棟解体工事(4棟12戸) (武佐団地) ・R10棟解体工事(1棟40戸) (白樺台団地) ・C団地解体工事(9棟34戸) (美原団地) ・M27棟屋根・外壁等改善工事(1棟30戸) (阿寒湖畔3団地) ・K302、K304棟屋根・外壁等改善工事(2棟30戸) (芦野団地) ・N.H.S.U.K.M棟排水管改善工事(6棟180戸) (※繰越明許事業を含む) ・N.H.S.U.K.M.T棟非常用照明改善工事(7棟210戸) ・S棟屋根・外壁等改善工事の実施に伴う実施設計業務(1棟30戸)	◎各団地とも、計画どおり事業を実施した。  <p style="text-align: center;">写真1 まりも団地A棟(木造2階・8戸)</p>  <p style="text-align: center;">写真2 まりも団地集会所(木造平屋)</p>  <p style="text-align: center;">写真3 芦野団地非常用照明改善(7棟210戸)</p>
(業務委託) ・釧路市公営住宅等長寿命化計画改訂業務 ・令和4年度公営住宅等建材調査業務	

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">評価</td> <td style="border: 1px solid black;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">評価</td> <td style="border: 1px solid black;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	<ul style="list-style-type: none"> 更新時期を迎える市営住宅が今後も多くあるため、既存市営住宅の劣化状況・地域の実情等を総合的に判断し、計画的な修繕や改善工事を行うことで、更新を平準化し、持続可能性の向上やライフサイクルコスト低減を図る必要がある。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 今後、耐用年数を迎える公営住宅が増加していくことを踏まえ、既存住棟の劣化状況・地域の実情等を総合的に勘案し、計画的な建替事業や改修を行って、事業費の平準化のみならず、ライフサイクルコスト低減を図る必要がある。 				
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 堀川団地整備事業を進めるとともに、令和4年度中に見直しする釧路市公営住宅等長寿命化計画による新たな公営住宅等の活用・供給方針に基づき、適切な管理戸数及びコスト減に向けて、事業を進めていく。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 「釧路市住生活基本計画」に定める公営住宅の役割を果たすため、令和4年度に見直しを行った「釧路市営住宅等長寿命化計画」に基づき、既存ストック活用主体に方針転換する。維持管理面においては、「対症療法型」から「予防保全型の維持管理」への転換をより一層進める。 				


令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	空家等対策事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	住宅都市部建築指導課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 釧路市空家等対策計画
目的と概要	適切に管理されていない空家等への対策に向け、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、釧路市の空家等の問題解消を図る。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		7,341	8,950	9,297
財源	一般財源 (千円)	3,745	4,600	4,797
	国道支出金 (千円)	3,596	4,350	4,500
	地方債 (千円)	0	0	0
	使用料・手数料 (千円)	0	0	0
	その他特定財源 (千円)	0	0	0
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	10,601	10,560	12,266
①	職員数 (人)	1.5	1.5	1.7
参考	市民一人あたりの費用 (円)		56.3	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1)	釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)			
注2)	市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。			

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>1. 空家等対策計画の推進 適切に管理されていない空家等への対策を計画的に推進するため、当該計画に基づいた空家等対策協議会を開催する。</p> <p>2. 空家等の適正な維持管理の喚起 広報紙・ホームページ・パンフレット等により空家等の適正な維持管理等について喚起を行う。</p> <p>3. 特定空家等の認定 市内の特定空家等の調査を行い、認定を実施する。</p> <p>4. 不良空家等除却補助制度の実施 ・補助額 除却工事費の1/3の額(上限300千円) ・予算件数及び予算額 30件 9,000千円</p> <p>5. 空家等に関する苦情・相談対応 ・市民からの空家等に対する苦情・相談等に対応する。 ・空家等対策に関する協定を締結している民間専門家6団体と協力し、空き家無料合同相談会を開催する。 ※民間専門家6団体…北海道宅地建物取引業協会釧路支部 北海道建築士事務所協会釧路支部 釧路司法書士会 釧路弁護士会 釧路市建設事業協会 北海道行政書士会</p>	<p>1. 空家等対策計画の推進 計画に基づいた施策の推進のため、空家等対策協議会を開催し、特定空家等の認定に係る意見や空家等に関する施策の進め方等についての協議を行った。 ・空家等対策協議会の開催 2回</p> <p>2. 空家等の適正な維持管理の喚起 ・固定資産税の納税通知書に啓発パンフレットを同封(59,446部) ・広報くしろに啓発記事を掲載 ・ホームページによる啓発</p> <p>3. 特定空家等の認定 ・特定空家の認定及び特定空家に対し行政指導を実施した。 ◎認定件数 3件 ◎指導実施 3件 ・令和4年度末時点での特定空家等の累計件数 42件</p> <p>4. 不良空家等除却補助制度の実施 ◎補助金交付者 29件 8,700千円</p> <p>5. 空家等に関する苦情・相談対応 ・市民からの通報があった空家等について、現地確認をし、管理が不適切な空き家の所有者に対して、指導を行った。 ◎通報件数 114件 指導件数 95件 ・空き家無料合同相談会開催 ◎来談者 延べ32組(41名)(相談内容…売買・賃貸、解体、相続等)</p> <div style="text-align: right;">  <p>おうちの空家の適切な管理をお願いします 空家等の所有者に向けて、適切な管理を行っていただくための情報提供等を行っています</p> </div>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。	評価	該当する自己評価結果をリストから選択してください。	評価
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 空家等の所有者へ適切な管理に向けた指導をしても連絡がなく、改善も見られないものが多いことから、空家等の所有者または今後空き家となる可能性が高いものに対して、自らの問題であることを認識して貰うよう、空家等問題の改善及び予防策について広く啓発していく必要がある。 所有者が経済的理由により、空家等の除却ができないことが多いことから、国に対して除却経費に対する補助率のかさ上げ等の更なる支援強化を求めていく必要がある。 	継続維持	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 空家等の所有者に対して適切な管理に向けた指導をしても連絡がなく、改善も見られないものが多いことから、空家等又は今後空き家となる可能性が高い建物に対して、自らの問題であることを認識して貰うよう、改善及び予防策について広く啓発していく必要がある。 所有者が経済的理由により、空家等の除却ができないことが多いことから、国に対して除却経費に対する補助率のかさ上げ等の更なる支援強化を求めていく必要がある。 	継続維持
<p>今後(令和5年度以降)の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> パンフレットや広報紙のほか、セミナー活動などを通じて、空家等の適正管理していく必要性を広く啓発していき、管理不全の空家等の増加を防止する。 老朽化が著しい空家等の除却費の補助制度を継続し、老朽危険空家等を減少させる。また、国に対して補助率かさ上げ等の支援強化を求めていく。 協定締結6団体や他団体等との関係を密にし、空家発生予防のセミナー開催や所有者(相続人)調査への助言など、空家問題解消に向けた具体的方策の検討及び方策を講じていく。 		<p>今後(令和6年度以降)の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> パンフレットや広報紙のほか、セミナー活動などを通じて、空家等の適正管理の必要性を広く啓発し、管理不全の空家等の増加を防止する。 老朽化が著しい空家等の減少に向け、除却費の補助制度を継続するとともに、国に対して補助率かさ上げ等の支援強化を求めていく。 改正空家法が令和5年中に施行予定であることから、国の示すガイドライン等に応じた施策を推進する。 協定締結6団体や他団体等との関係を密にし、空家発生予防のセミナー開催や所有者(相続人)調査への助言など、空家問題解消に向けた具体的方策の検討及び方策を講じていく。 	

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	住宅エコリフォーム補助金<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	住宅都市部建築指導課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	釧路市住生活基本計画
	釧路市環境基本計画
目的と概要	安心、安全で良質な住宅ストックの形成により、市民の住生活の向上を図るとともに市内住宅関連産業の促進に貢献することを目的として、市民が実施する一定基準の省エネ改修工事やバリアフリー改修工事の一部に補助金を交付する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		5,012	5,634	5,656
財源	一般財源 (千円)	2,760	3,102	3,111
	国道支出金 (千円)	2,252	2,532	2,545
	地方債 (千円)	0	0	0
	使用料・手数料 (千円)	0	0	0
	その他特定財源 (千円)	0	0	0
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考 ①	職員人件費 (千円)	7,067	7,040	7,215
	職員数 (人)	1.0	1.0	1.0
参考 ②	市民一人あたりの費用 (円)		35.4	
	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画	(2) 事業の実績と成果																					
1. 住宅エコリフォーム補助金 (1) 補助対象工事 ○省エネ改修工事 省エネ基準(平成21年告示基準)に対応する断熱改修工事 ○バリアフリー改修工事 ○省エネ改修とバリアフリー改修を同時に行う工事 (2) 補助金額 ①基本補助: 補助対象金額10%以内。限度額50万円。 ②高齢者同居加算: 高齢者(65歳以上)と同居の場合、補助率を5%加算。限度額75万円。 ③地域材利用加算: 使用された地域材(10千円/m ²)を乗じて加算。 (2) 予算額 ・基本分(省エネ改修+バリアフリー改修)239千円×20件=4,780千円 ・高齢者同居加算 854千円 ・地域材利用加算 22千円 予算額合計 5,656千円	1. 事業実施件数及び事業実施金額 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施件数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本分(省エネ改修+バリアフリー改修)</td> <td>※31件</td> <td>4,767千円</td> </tr> <tr> <td>(内、省エネ改修分)</td> <td>※(5件)</td> <td>(1,110千円)</td> </tr> <tr> <td>(内、バリアフリー改修分)</td> <td>※(30件)</td> <td>(3,657千円)</td> </tr> <tr> <td>高齢者同居加算分</td> <td>8件</td> <td>851千円</td> </tr> <tr> <td>地域材利用加算分</td> <td>1件</td> <td>10千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>31件</td> <td>5,628千円</td> </tr> </tbody> </table> ※省エネ改修とバリアフリー改修の重複実施 4件あり		実施件数	補助金額	基本分(省エネ改修+バリアフリー改修)	※31件	4,767千円	(内、省エネ改修分)	※(5件)	(1,110千円)	(内、バリアフリー改修分)	※(30件)	(3,657千円)	高齢者同居加算分	8件	851千円	地域材利用加算分	1件	10千円	合計	31件	5,628千円
	実施件数	補助金額																				
基本分(省エネ改修+バリアフリー改修)	※31件	4,767千円																				
(内、省エネ改修分)	※(5件)	(1,110千円)																				
(内、バリアフリー改修分)	※(30件)	(3,657千円)																				
高齢者同居加算分	8件	851千円																				
地域材利用加算分	1件	10千円																				
合計	31件	5,628千円																				
2. 事業の周知 ・市ホームページへの掲載 ・広報くしろへの掲載 ・パンフレットを各支所等(9カ所)へ配布。 ・固定資産税納税通知書にパンフレットを同封。 ・建設事業協会への周知。	2. 事業の周知 ・市ホームページへの掲載(パンフレット、様式等) ・広報くしろに掲載 ・パンフレットを配布(市役所、阿寒・音別行政センター、各支所、コアかがやき、コア大空、コア鳥取) ・固定資産税納税通知書に啓発パンフレットを同封 ・建設事業協会への周知。																					

【配布したパンフレット】



3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	基本補助及び高齢者同居加算については、ここ数年の利用実績や今後も一定の需要が見込まれることから、同規模の補助を継続する必要がある。地域材利用加算については、リフォーム工事では木材の使用量が少ない事例が多いことから使用の増加は難しいが、地域材の利用は地域の林業・林産業の活性化にもつながるから、あらためて制度の周知徹底に努め、利用者にとって活用しやすい制度にしていける必要がある。	課題	本補助制度については、ここ数年の利用実績や今後も一定の需要が見込まれることから、同規模の補助を継続する必要がある。また、カーボンニュートラルの実現に向け、住宅・建築物ストックの省エネ化推進のため、国や道の取組と連携して既存住宅・建築物の省エネ改修を推進する必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	令和3年度は予算満額執行とはならなかったが、これまでの事業実施結果を検証し、次年度以降も需要動向も見極めながら、今後の方針を定めていく。	今後(令和6年度以降)の方向性	これまでの事業実施結果を検証するとともに、需要動向や国や道の補助制度の動き等も見極めながら、今後の方向性を定めていく。

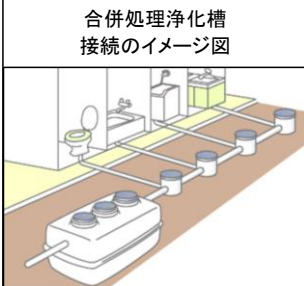
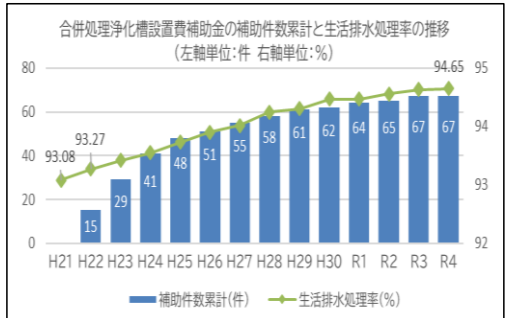
令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	合併処理浄化槽補助金<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	市民環境部環境保全課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	第2次釧路市環境基本計画
	釧路市生活排水処理基本計画
目的と概要	釧路市生活排水処理基本計画に基づき、下水道整備計画区域外での合併処理浄化槽の設置を促進するため、設置希望世帯への設置費助成を行う。また、浄化槽法第11条に基づく法定検査費用を助成し、浄化槽設置者の負担軽減を行うとともに、設置も促進する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		2,080	680	3,164
財源	一般財源 (千円)	1,716	680	2,606
	国庫支出金 (千円)	364		558
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	8,480	8,448	8,658
①	職員数 (人)	1.2	1.2	1.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		4.3	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画	(2) 事業の実績と成果																																													
<p>① 合併処理浄化槽設置費補助 (平成22年度から継続)</p> <p>○ 助成金額及び件数</p> <ul style="list-style-type: none"> 合併処理浄化槽設置費補助 <ul style="list-style-type: none"> 5人槽 600千円 × 2件 7~10人槽 800千円 × 1件 単独処理浄化槽撤去費用補助 90千円 × 1件 宅内配管工事費補助 300千円 × 1件 <p>合計 2,390千円</p> <p>② 合併処理浄化槽維持管理費補助 (平成25年度から継続)</p> <p>○ 助成金額及び件数</p> <p>8千円 × 92件</p> <p>合計 736千円</p>	<p>① 合併処理浄化槽設置費補助</p> <p>○ 助成金額及び件数</p> <ul style="list-style-type: none"> 合併処理浄化槽設置費補助 <ul style="list-style-type: none"> 5人槽 600千円 × 0件 7~10人槽 800千円 × 0件 単独処理浄化槽撤去費用補助 90千円 × 0件 宅内配管工事費補助 300千円 × 0件 <p>合計 0千円</p> <p>② 合併処理浄化槽維持管理費補助</p> <p>○ 助成金額及び件数</p> <p>8千円 × 85件</p> <p>合計 680千円</p>																																													
<p>合併処理浄化槽 接続のイメージ図</p>  <p>合併処理浄化槽とは、トイレからの汚水とそれ以外の排水(生活雑排水)を「併」せて「処理」することができる、小さな下水道施設のような設備です。</p> <p>合併処理浄化槽に接続することで、単独処理浄化槽やくみ取り便槽では処理できないお風呂や台所からの排水も処理できます。</p> <p>単独処理浄化槽から合併処理浄化槽に転換した場合、放流される排水の汚れは10分の1以下になります。</p>	<p>合併処理浄化槽設置費補助金の補助件数累計と生活排水処理率の推移 (左軸単位: 件 右軸単位: %)</p>  <table border="1"> <caption>合併処理浄化槽設置費補助金の補助件数累計と生活排水処理率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>補助件数累計 (件)</th> <th>生活排水処理率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>15</td><td>93.08</td></tr> <tr><td>H22</td><td>29</td><td>93.27</td></tr> <tr><td>H23</td><td>41</td><td>94.00</td></tr> <tr><td>H24</td><td>48</td><td>94.20</td></tr> <tr><td>H25</td><td>51</td><td>94.40</td></tr> <tr><td>H26</td><td>55</td><td>94.50</td></tr> <tr><td>H27</td><td>58</td><td>94.60</td></tr> <tr><td>H28</td><td>61</td><td>94.70</td></tr> <tr><td>H29</td><td>62</td><td>94.80</td></tr> <tr><td>H30</td><td>64</td><td>94.90</td></tr> <tr><td>R1</td><td>65</td><td>95.00</td></tr> <tr><td>R2</td><td>67</td><td>95.10</td></tr> <tr><td>R3</td><td>67</td><td>95.20</td></tr> <tr><td>R4</td><td>67</td><td>94.65</td></tr> </tbody> </table>	年度	補助件数累計 (件)	生活排水処理率 (%)	H21	15	93.08	H22	29	93.27	H23	41	94.00	H24	48	94.20	H25	51	94.40	H26	55	94.50	H27	58	94.60	H28	61	94.70	H29	62	94.80	H30	64	94.90	R1	65	95.00	R2	67	95.10	R3	67	95.20	R4	67	94.65
年度	補助件数累計 (件)	生活排水処理率 (%)																																												
H21	15	93.08																																												
H22	29	93.27																																												
H23	41	94.00																																												
H24	48	94.20																																												
H25	51	94.40																																												
H26	55	94.50																																												
H27	58	94.60																																												
H28	61	94.70																																												
H29	62	94.80																																												
H30	64	94.90																																												
R1	65	95.00																																												
R2	67	95.10																																												
R3	67	95.20																																												
R4	67	94.65																																												

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 対象者の高齢化や設置費用が高額であることを主な要因として、既設住宅における単独処理浄化槽や汲み取り便槽からの合併処理浄化槽転換が進んでいない。合併処理浄化槽への転換を促進するため、本制度を引き続き周知していくことが必要。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 対象者の高齢化や設置費用が高額であることを主な要因として、既設住宅における単独処理浄化槽や汲み取り便槽からの合併処理浄化槽転換が進んでいない。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 近年、補助制度を活用しての合併処理浄化槽設置の需要が低迷しているものの、例年一定数の設置実績があることから補助件数、金額を現状維持とする。また、単独処理浄化槽および汲み取り便槽から合併処理浄化槽への切替を促すため、補助制度を周知し設置推進の取組みを継続する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 補助制度を活用した合併処理浄化槽設置数は低迷しており、令和4年度には設置実績はなかったものの、一定数の問合せ実績があることから補助件数、金額を現状維持とする。また、単独処理浄化槽および汲み取り便槽から合併処理浄化槽への切替を促すため、補助制度を周知し設置推進の取組みを継続する。特に、環境省が交付金基準額を増額して合併浄化槽への切替を推進していることから、単独処理浄化槽の管理者に対して一層の周知を図っていくこととする。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	都市公園整備事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	都市整備部公園緑地課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	釧路市緑の基本計画
	釧路市公園施設長寿命化計画
目的と概要	緑の基本計画に基づく公園整備により、児童の安全な遊び場と地域コミュニティの場を確保し、住環境の向上を図るとともに、緑化率の向上を高めることで、より良好な都市環境の形成を図ることを目的とする。また、長寿命化計画による施設の改築を行うことにより、公園施設の事後的な維持管理から、予防的な維持管理への転換を図り、公園利用者の安全・安心を確保する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>1施設整備 【補助事業】 (1)昭和東公園(近隣公園) 便所整備工、園路整備工、植栽工他 一式</p> <p>2施設改築 【補助事業】 老朽化した公園施設の更新 15公園 (遊戯施設 22基、一般施設 4基)</p>	<p>1施設整備 【補助事業】 (1)昭和東公園(近隣公園) 便所整備工、園路整備工、植栽工他を実施し、便所の供用を開始した。</p>  <p>2施設改築 【補助事業】 老朽化した公園施設の更新 14公園 (遊戯施設 21基、一般施設 4基)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>更新前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>更新後</p> </div> </div> <p>【単独事業】 補助事業対象外公園施設の更新を行った。 (6公園、一般施設 一式)</p> <p>【単独事業】 補助事業対象外公園施設の更新を行った。 (4公園、一般施設 一式)</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		152,411	178,159	226,504
財源	一般財源 (千円)	739	15,259	17,554
	国庫支出金 (千円)	69,340	82,000	102,250
	地方債 (千円)	81,100	80,900	106,700
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	1,232		
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	49,469	49,280	50,505
①	職員数 (人)	7.0	7.0	7.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		1,120.4	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		508.8	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> (近隣公園)昭和東公園の令和5年度中の全面供用に向けて、計画的に整備を進める。 老朽化した施設の計画的な改築のための予算措置と、更新した施設の定期的な保守管理・修繕等の実施。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> (近隣公園)昭和東公園の令和5年度中の全面供用に向けて、計画的に整備を進める。 老朽化した施設の計画的な改築のための予算措置と、更新した施設の定期的な保守管理・修繕等の実施。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 公園利用者の安全確保のため、計画的な改築事業の継続、およびライフサイクルコストの縮減に資する資材の使用に努める。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 公園利用者の安全確保のため、計画的な改築事業の継続、およびライフサイクルコストの縮減に資する資材の使用に努める。

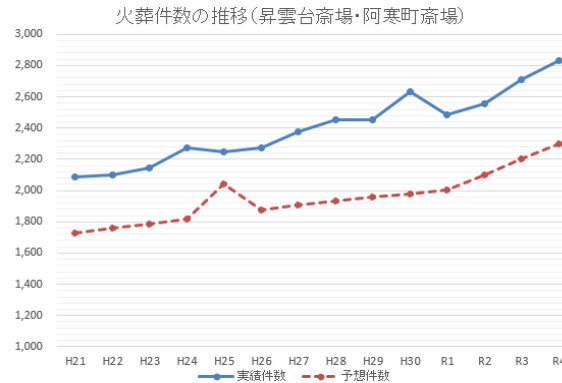
令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	火葬場施設整備事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	市民環境部環境保全課 阿寒町行政センター市民課 釧路市まちづくり基本構想
根拠となる計画	
目的と概要	釧路市昇雲台斎場は平成14年から供用開始し、これまでも定期的な補修・整備は行ってきたものの、火葬炉全体の老朽化が進み、大規模な改修工事が必要となっているため、令和元年度から令和5年度まで大規模修繕を行う。阿寒町斎場についても、令和4年度まで同様に大規模修繕を行う。

2 当初計画と実績・コスト・成果

- (1)年度当初計画
- 昇雲台斎場:火葬炉改修工事(炉内台車耐火物交換、再燃焼室丸絞り、バーナータイル周辺耐火物交換、炉圧ダンパ及びダクト改修、排気ファンモーター交換、排ガス冷却ファンモーター交換、電気・計装機器交換)、非常灯・誘導灯設備修繕、ブロワーポンプ修繕、空調用中央監視装置更新工事、排煙窓修繕
 - 阿寒町斎場:2号炉台車更新



- (2)事業の実績と成果
- 令和4年度実績
 - ・昇雲台斎場:火葬炉改修工事、非常灯・誘導灯設備修繕、ブロワーポンプ修繕、空調用中央監視装置更新工事、排煙窓修繕
 - ・阿寒町斎場:2号炉台車更新、水道配管修繕(写真1) 火葬炉改修工事



(写真2) 阿寒町斎場水道配管修繕



【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		87,093	97,970	94,301
財源	一般財源 (千円)	5,593	5,190	42
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)	81,500	75,200	93,700
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		17,580	559
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	7,040	7,215
①	職員数 (人)	1.0	1.0	1.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		616.1	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		472.9	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

火葬件数(実績)	昇雲台斎場	阿寒町斎場
・令和2年度	2,467件	88件
・令和3年度	2,642件	65件
・令和4年度	2,721件	108件

炉内訳	昇雲台斎場	阿寒町斎場
・通常炉	7炉	・大型炉 1炉
・特大炉	1炉	
・胞わい炉	1炉	

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 縮小	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・両斎場共、施設の用途・性質上、閉館や長期使用停止ができず、閉館しながらの工事となる。利用者に不便・不快感等を与えぬよう、細心の注意を払いながら、かつ、円滑に工事を完了させる必要がある。 ・阿寒町斎場においては、1炉体制のため、長期の使用停止となる大規模補修が生じないよう、計画的に補修を行っていく必要がある。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・両斎場共、施設の用途・性質上、閉館や長期使用停止ができず、閉館しながらの工事となる。利用者に不便・不快感等を与えぬよう、細心の注意を払いながら、かつ、円滑に工事を完了させる必要がある。 ・阿寒町斎場においては、1炉体制のため、長期の使用停止となる大規模補修が生じないよう、計画的に補修を行っていく必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の主要な修繕箇所である、燃焼フロア・排ガス冷却ファンのアッセンブリ交換、主燃焼室吸込口耐火物及びバーナータイル及び上部耐火物、電気・計装機器交換等、各々予定数の3分の2のアッセンブリ交換等について令和5年度で完了する。 ・阿寒町斎場:設備点検等で指摘があった際には、都度補修を行う予定である。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度より実施していた昇雲台斎場の大規模修繕については、令和5年度で終了となる。しかしながら、施設の老朽化が進んでいるため、施設の利用者に迷惑をかけないよう必要に応じて計画的に修繕を実施していく。 ・阿寒町斎場:施設の老朽化が進んでいるため、設備点検等で指摘があった際には、都度補修を行う予定である。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	ごみ処理手数料徴収事務事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	市民環境部環境事業課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	釧路市指定ごみ袋の購入に伴う利便性の向上に向け、行政区域を超えた取扱店舗の拡大を図る。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>(1)市民利便性の向上に向けた取り組み 釧路町との生活経済圏の一体化が進む中、イオン(株)との地域連携協定締結(H30年8月)に基づく市民サービス向上の取組の一環として、イオン北海道(株)からイオン釧路店における市指定ごみ袋の販売について強い要請があったことを受け、令和2年度からイオン北海道(株)と手数料収納事務委託契約を締結し、イオン釧路店において実証実験(試験販売)を開始、令和3年度は、実施店舗を複数店舗に拡大し、実証実験を継続</p> <p>(2)市内既存販売店への影響の検証 ①釧路市指定ごみ袋等を釧路町所在店舗において販売することで、市内既存店舗における販売枚数(金額)への影響</p> <p>(3)釧路市民及び釧路町民への影響の検証 ①指定ごみ袋等の誤購入及び誤排出の(不適正排出等)の発生などの影響</p> <p>(4)令和4年度の取り組み 令和2年度並びに令和3年度の実証実験の結果を踏まえ、釧路市域及び釧路町域での影響が少ないことから、令和4年度から市指定ごみ袋等を釧路町域7店舗で正式に販売を開始</p>	<p>(1)取り組み状況 令和4年度から市指定ごみ袋等を正式に販売を開始した。 【取扱店舗】令和5年3月末現在 ●215店舗 うち釧路市域208店舗、うち釧路町域7店舗</p> <p>(2)市既存店舗への影響 ①釧路町域での販売が原因とみられる市内販売店の売上減少 釧路町店舗での販売金額は令和2年度で全体の1.57%、令和3年度は3.03%、令和4年度は3.83%のシェアであり、多店舗への影響は限定的なものと推測される。 ②令和3年度から令和4年度にかけて前年比60%売上が減少した店舗4店舗(うち3店舗が廃業)※釧路町と隣接していない地域</p> <p>(3)不適正排出の抑制 市内で釧路町指定ごみ袋による不適正排出件数 ・令和2年度:24件(42袋) ・令和3年度:6件(6袋) ・令和4年度:11件(11袋) ※ステッカーなどの注意喚起により自主回収を促している。改善されない場合は、市で回収を行っている。 ※釧路町に確認したところ、販売開始が原因による誤購入、誤排出は確認されていない。</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	110,249	108,860	109,880
財源	一般財源 (千円)	△ 237,253	△ 224,742	△ 255,706
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)	347,502	333,602	365,586
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	0	2,816	2,165
①	職員数 (人)	0.0	0.4	0.3
参考	市民一人あたりの費用 (円)		684.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/>		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/> <input type="text" value="継続維持"/>	
課題	評価を実施していないため、空欄となります。	課題	・当市の釧路町隣接地域は、学生等転入者が多い地域でもあることから、店舗と連携を図りながら指定ごみ袋等の誤購入未然防止及び誤排出が発生した場合には適切な排出指導や継続的な周知活動に取り組んでいく必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	評価を実施していないため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	・今後も市民利便性の維持を図りつつ、不適正排出の抑止に努めていく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	ごみ減量化対策事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	市民環境部環境事業課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	第2次釧路市環境基本計画
	釧路市一般廃棄物処理基本計画
目的と概要	平成30年度において1人1日当たりの家庭系廃棄ごみの排出量が道内の主要9市で最も多い結果となっており、家庭から出されるごみの中では「生ごみ」が多くを占め、また水分含有量も多く含んでいることから、家庭から出される生ごみの減容・減量化に取り組んでいただく一助として、電気生ごみ処理機及びコンポスト容器のモニター制度を実施するもの。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	0	196	462
財源	一般財源 (千円)	0	6	462
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)		190	
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	0	3,520	2,886
①	職員数 (人)	0.0	0.5	0.4
参考	市民一人あたりの費用 (円)		1.2	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																														
<p>モニター事業協力者を募り、機器を貸与し、使用感や生ごみ減量効果について定期的に報告をいただき、情報発信することにより、家庭でのごみの減量化意識の醸成を図る。</p> <p>(1)モニター実施者の選定 モニター事業への応募状況</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">募集数</td> </tr> <tr> <td>●電気生ごみ処理機(大家族向け)</td> <td style="text-align: right;">1台</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(3~4人世帯向け)</td> <td style="text-align: right;">1台</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(1~2人世帯向け)</td> <td style="text-align: right;">1台</td> </tr> <tr> <td>●コンポスト容器</td> <td style="text-align: right;">3台</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">合計</td> <td style="text-align: right;">6件</td> </tr> </table> <p>(2)使用感や減量効果の情報収集 モニターの方々から、アンケート形式の状況報告と写真を毎月提出していただき情報収集を行う。</p> <p>(3)積極的な情報発信 モニター実施者からの報告内容をHPやSNSを通じて広く市民に情報発信することにより、家庭における生ごみ減量化に興味・関心を持っていただき、実際に各家庭で取り組みを推進を図る。</p>		募集数	●電気生ごみ処理機(大家族向け)	1台	(3~4人世帯向け)	1台	(1~2人世帯向け)	1台	●コンポスト容器	3台	合計	6件	<p>(1)モニター事業への応募状況</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">募集数</td> <td style="text-align: right;">応募数</td> </tr> <tr> <td>●電気生ごみ処理機(大家族向け)</td> <td style="text-align: right;">1台</td> <td style="text-align: right;">6件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(3~4人世帯向け)</td> <td style="text-align: right;">1台</td> <td style="text-align: right;">10件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(1~2人世帯向け)</td> <td style="text-align: right;">1台</td> <td style="text-align: right;">11件</td> </tr> <tr> <td>●コンポスト容器</td> <td style="text-align: right;">3台</td> <td style="text-align: right;">2件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">合計</td> <td style="text-align: right;">29件</td> <td></td> </tr> </table> <p>※抽選により、電気生ごみ処理機各1名、コンポスト容器2名の計5名をモニターに決定した。</p> <p>(2)減量効果 ・ごみの排出量が減った。(重量ベースで中央値50%) ・容積ベースでも可燃ごみの配収回数、指定ごみ袋の使用容量の減容など一定の効果があつた。</p> <p>(3)使用感 ・生ごみの匂いが無くなり可燃ごみから虫の発生がなくなった。 ・処理機器で処理することに向いている生ごみとそうでないものに分ける作業が増える。 ・コンポスト容器の場合、冬期間生ごみの処理ができない。 ・どの世帯もごみの減量化のため継続して使用する。 ・ごみの減量や環境について関心が高まったとの意見があつた。 ・複数の世帯で普及啓発、情報発信が重要との意見があつた。</p> <p>(4)積極的な情報発信 モニターの方々からの報告内容をHPやSNSを通じて広く市民に情報発信することにより、家庭における生ごみ減量化に興味・関心を持っていただくよう、情報発信に取り組んだ。 ※令和4年6月から令和5年4月まで週1回の頻度(38回)で実施。</p>		募集数	応募数	●電気生ごみ処理機(大家族向け)	1台	6件	(3~4人世帯向け)	1台	10件	(1~2人世帯向け)	1台	11件	●コンポスト容器	3台	2件	合計	29件	
	募集数																														
●電気生ごみ処理機(大家族向け)	1台																														
(3~4人世帯向け)	1台																														
(1~2人世帯向け)	1台																														
●コンポスト容器	3台																														
合計	6件																														
	募集数	応募数																													
●電気生ごみ処理機(大家族向け)	1台	6件																													
(3~4人世帯向け)	1台	10件																													
(1~2人世帯向け)	1台	11件																													
●コンポスト容器	3台	2件																													
合計	29件																														

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コンポスト(たい肥化)容器は、たい肥化後再利用の課題や管理上の手間から募集数まで満たなかったと考えられる。 ・まだ、各家庭での生ごみ減量化の機運醸成までには至っていないことから、引き続き情報発信に努めていく。
今後(令和5年度以降)の方向性	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度も引き続きモニター事業を継続、情報収集発信に努め、各家庭における生ごみ減量化の広がりを推進していく。 ・近年は、削減型(キエーロ)をはじめとし、生ごみ減量化の手法が多様化していることから、現行の助成制度の見直しなど、検討を進めていく。